

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木島平村・栄村 志久見古道が結ぶ、新たな地域防災力の向上への取り組み
事業主体 (連絡先)	ふう太の里山倶楽部 長野県下高井郡木島平村大字往郷 1314-1 なまびや木島平
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,975,300 円 (うち支援金: 2,231,000 円)

事業内容

室町時代以前からあったとされる、木島平村と栄村を結ぶ志久見古道。両村にとって貴重な行き来の架け橋であったことのほか、地理的要件からも歴史的な史跡が数多く残っているとされています。本事業では、ドローン技術を用いて、地形データをGIS（地理情報システム）を通じて可視化し、いままで確認することが困難であった詳細情報を、誰にでも分かりやすいデータとして作成しました。また、可視化したデータを元に、この地域がどのような場所で、この地理的要因だからこその地域性を専門家の説明を受けながら理解を深めました。みにつなげていくことを確認した。



【活動写真】

【目標・ねらい】

- ① 地域の魅力再発見
- ② 地域財産の掘り起こし
- ③ 地域間交流（木島平・栄村）
- ④ 観光誘致

事業効果

両村それぞれ4回のワークショップを開催しました。参加者数として、延べ人数で木島平村（60名）、栄村（34名）であった。そのうち、9割が地元地域の方々の参加であったことから、住民の方々の興味関心が高いことが確認出来た。それぞれ各回のワークショップ時にアンケートを実施し、その結果、満足が7割、やや満足が2割、どちらとも言えないが1割でした。こちらも内容的には問題なく、充実したワークショップになったのではないかと考えています。参加者の多くが、現地踏査と屋内でのイベント両方実施したことへの評価は9割以上ありました。

※自己評価 【 B 】

【理由】

ワークショップを8回実施出来たことはとても充実していたと思っています。ただ、準備も含めて慌ただしくなってしまう、ご迷惑をお掛けした場面が多々ありました。

今後の取り組み

本年度はじめて、木島平村と栄村両村においてワークショップを開催しました。それぞれ単独でのイベントとなり、両村の交流的な部分が全く出来ませんでした。来年度では、それぞれの村において交流が図れるようなイベントの開催などを実施出来ればと考えております。財源につきましたは、対外的なイベントを企画し、観光面での収入確保を検討しております。そのためには、地元地域の観光団体との連携が必要となるため、新年度からその打合せを進めていく予定です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある